

# 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 :たん白泡消火薬剤 3%(-10℃～+30℃) 泡第 2020～5 号[グリーンアルコエース 3-3・6]  
 整理番号 :FC-P-012(2)  
 会社名 :日本ドライケミカル株式会社  
 住所 :〒114-0014 東京都北区田端 6-1-1 田端 ASUKA タワー  
 担当部門 :技術部 (TEL:03-5815-5025 Fax:03-3822-9770)

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	火薬類	分類できない	健康有害性	急性毒性(経口)	区分外
	可燃性/引火性ガス	分類対象外		急性毒性(経皮)	分類できない
	可燃性/引火性エアゾール	分類対象外		急性毒性(吸入:気体)	分類対象外
	支燃性/酸化性ガス	分類対象外		急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	高压ガス	分類対象外		急性毒性(吸入:粉塵及びミスト)	分類できない
	引火性液体	分類できない		皮膚腐食性/刺激性	区分外
	可燃性固体	分類対象外		眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分外
	自己反応性化学品	分類できない		呼吸器感作性	分類できない
	自己発火性液体	分類できない		皮膚感作性	区分外
	自己発火性固体	分類対象外		生殖細胞変異原性	区分外
	自己発熱性化学品	分類できない		発がん性	区分外
	水反応可燃性化学品	分類できない		生殖毒性	区分外
	酸化性液体	分類できない		授乳に対する影響	分類できない
	酸化性固体	分類対象外		特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分2 (**1)
有機化酸化物	分類できない	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分2 (**2)		
金属腐食性物質	分類できない	吸引性呼吸器有害性	区分外		
環境有害性	水生環境有害性(急性)	区分外	オゾン層への有害性		分類できない
	水生環境有害性(長期間)	区分外			

※1 区分2:呼吸器、心臓、腎臓、中枢神経系

※2 区分2:呼吸器、心臓、中枢神経系

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語 :警告

危険有害性情報 :中枢神経系、呼吸器、心臓、腎の障害のおそれ  
 長期又は反復暴露による中枢神経系、呼吸器、心臓の障害のおそれ

安全対策 :使用及び取扱いの前に SDS を必ず読むこと。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。  
 ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙しないこと。

応急処置 :暴露または暴露の懸念がある場合:医師に連絡すること。  
 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

保管 :施錠して保管すること。

廃棄 :内容物や容器は、関係法令に基づき、自社で適正に処理するか、都道府県知事の許可をうけた専門の廃棄物処理業者に処理を委託すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分:混合物(加水分解たん白質、ふっ素系界面活性剤配合物<sup>※</sup>)

危険有害成分:

化学名	含有量(%)	化学式	官報公示番号	CAS No.
硫酸第一鉄・7水塩	1.8	FeSO <sub>4</sub> ・7H <sub>2</sub> O	1-359	7782-63-0
エチレングリコール	3.0	CH <sub>2</sub> OH CH <sub>2</sub> OH	2-230	107-21-1

以下の2物質は労働安全衛生法に定められた通知対象物である。

硫酸第一鉄[番号;352]

エチレングリコール[番号;75]

※:化審法におけるPFOS及びその塩、PFOA及びその塩に該当しない。また、PFHxS及びPFHxAを使用していない。

### 4. 応急措置

- 吸入した場合 :新鮮な空気の場所に移し衣服を緩め安静にする。  
必要があれば医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 :触れた部位を多量の水で洗い流す。
- 眼に入った場合 :清浄な水で洗浄する。異常を感じたら医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 :水で良く口の中を洗浄する。必要があれば指を喉に差込んで吐き出させ、異常を感じたら医師の診断を受ける。

### 5. 火災時の措置

- 消火剤 :該当せず。(本製品は消火剤であり、不燃性であるため)
- 使ってはならない消火剤:該当せず。(本製品は消火剤であり、不燃性であるため)

### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 :作業の際にはゴム手袋、保護眼鏡等の保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 :飛散拡大防止措置を図り、回収する。  
薬剤及び洗浄水が下水、河川等に流出し、環境への影響を起こさないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法:少量の場合は速やかに布等で拭き取るか、スコップ等ですくい取って密閉できる容器に回収する。多量に流出した場合は盛り土で囲って流出を防止し安全な場所に導いてから処理する。  
薬剤が付着した箇所は流水で良く洗い流す。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策及び注意事項:保護具を着用し、眼、皮膚接触を防ぎ、風上で作業する。  
取扱い後は、使用した保護具、手、顔などを良く洗う。

保管

- 適切な保管条件 :使用温度範囲内(-10℃～+30℃)で保管する。又、凍結させない。  
密栓し、正立の状態での保管する。  
型式の異なる他の薬剤、化学薬品、水などの異物を混入しない。  
大きな振動や衝撃を与えるなど、乱暴に取扱わない。

**8. 暴露防止及び保護措置**

	管理濃度	許容濃度 (日本産業衛生学会)	許容濃度 (ACGIH)
硫酸第一鉄・7水塩	未設定	未設定 2013 年度版	TLV-TWA 1mg/m <sup>3</sup> (Feとして) 2008 年度版
エチレングリコール	未設定	未設定 2009 年度版	TLV-STEL C100mg/m <sup>3</sup> 2012 年度版

設備対策 : 取扱い場所の近くに手洗い、洗顔設備を設ける。

保護具 : 作業の際にはゴム手袋、保護眼鏡等を着用する。

**9. 物理的及び化学的性質**

物理的状态 : 黒褐色粘稠液体

臭い : たん白臭を有する。

pH : 7.0(20℃)

引火点 : 不燃性である。

爆発範囲 : 火災爆発の危険性はない。

比重 : 1.155(20℃)

溶解性 : 水溶性

**10. 安定性及び反応性**

安定性 : 通常取り扱い条件においては安定である。

危険有害反応可能性 : 火災爆発の危険性はない。

避けるべき条件 : 混合物としてのデータなし。

混触危険物質 : 混合物としてのデータなし。

危険有害分解生成物 : 混合物としてのデータなし。

### 11. 有害性情報

現在のところ混合物としての有害性情報のデータはない。

参考として、各危険有害成分単体についての有害性情報を下記に示す。

	硫酸第一鉄・7水塩	エチレングリコール
急性毒性(経口)	区分4 LD <sub>50</sub> =1520mg/kg LD50≥2000mg/kg(ラット)	区分外 LD <sub>50</sub> =4000~10200mg/kg JIS 準拠による
急性毒性(経皮)	分類できない	区分外 LD <sub>50</sub> =10600mg/kg
急性毒性(吸入:気体)	分類できない	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない	分類できない
急性毒性 (吸入:粉塵及びミスト)	分類できない 粘膜刺激の可能性あり	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない 皮膚刺激の可能性あり	区分外 JIS 準拠による
眼に対する重篤な損傷/ 眼刺激性	分類できない 眼の刺激・炎症のおそれあり	区分2B
呼吸器感作性	分類できない	分類できない
皮膚感作性	分類できない	区分外
生殖細胞変異原性	分類できない Ames 試験:陰性 染色体異常試験:陽性	区分外
発がん性	分類できない	区分外
生殖毒性	分類できない	区分外
授乳に対する影響	分類できない	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	分類できない	区分1 呼吸器、心臓、腎臓、 中枢神経系
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	分類できない	区分1 呼吸器、心臓、 中枢神経系
吸引性呼吸器有害性	分類できない	分類できない

### 12. 環境影響情報

生態毒性 :

	硫酸第一鉄・7水塩	エチレングリコール
急性水生毒性	区分3 EC=91mg/L/48H	区分3 LC50=47000 μg/L/96H
慢性水生毒性	区分外 NOEC=22mg/L/48H(オオミジンコ) NOEC=3.2mg/L/72H(藻類)	区分外

残留性・分解性 :BOD 4, 100 mg/L COD 7, 700 mg/L (3%希釈水の実測値の一例)

生体蓄積性 :混合物としてのデータなし。

土壌中の移動性 :混合物としてのデータなし。

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 :廃棄の必要が生じた場合、焼却処分が最善である。

外部に処理を委託する場合には、都道府県知事の認可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託する。

## 14. 輸送上の注意

- 国内規制 :陸上輸送:消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。  
海上輸送:船舶安全法に定められている運送方法に従う。  
航空輸送:航空法に定められている運送方法に従う。
- 国際規制 :航空輸送は IATA 及び海上輸送は IMDG の規則に従う。
- 国連分類 :分類基準に該当しない。
- 国連番号 :分類基準に該当しない。
- 安全対策 :輸送前に容器が密栓されているか、又、液漏れがないか確認する。  
乱暴に取り扱って容器を破損させることのないように注意する。

## 15. 適用法令

- 消防法(昭和 23 年法律第 186 号):第 21 条の 2 第 2 項  
「泡消火薬剤の技術上の規格を定める省令」自治省令第 26 号(昭和 50 年 12 月 9 日)
- 労働安全衛生法 :第 57 条の 2(施行令第 18 条の 2)名称等を通知すべき有害物  
鉄水溶性塩[No.352]  
エチレングリコール[No.75]
- 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法):該当せず。
- 毒物劇物取締法 :該当せず。
- 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法):PFOS 又はその塩に該当せず。  
PFOA 又はその塩に該当せず。
- 水質汚濁防止法 :BOD、COD、ふっ素規制等。
- 家畜伝染病予防法 :第 40 条第 3 項  
「動物性加工たん白の輸入一時停止措置について」(平成 17 年 8 月 12 日 17 消安第 2891 号)内の消火剤用蒸製蹄角粉に係る輸入検疫実施細則を満たしている。
- その他 :PFHxS 及び PFHxA を使用せず(国内法令では未規制)。

## 16. その他の情報

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。又、SDS 中の注意事項は通常の手扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。又、当社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。